

会長講演

CL1

夢をかなえる～この20年、そして、あしたへ～

6月19日(金)8:30-9:00

第1会場

座長：細川 豊史（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座）

- CL 夢をかなえる～この20年、そして、あしたへ～ 32
高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）

特別講演

SL1

武道的身体論 整えられた身体と生命力

6月19日(金)14:10-15:10

第1会場

座長：高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）

- SL1 武道的身体論 整えられた身体と生命力 33
内田 樹（凱風館 館長）

SL2

余命について

6月20日(土)10:15-11:15

第1会場

座長：大西 司（昭和大学 呼吸器・アレルギー内科）

- SL2 余命について 34
中島 宏昭（公益財団法人世田谷区保健センター 所長）

海外招待講演

EL1

豪州・モナシュ大学から：いま医療者に必要とされる「マインドフルネス(今、この瞬間への気付き)」とは？～その科学的根拠と適応を探る～ 第9会場

6月19日(金)9:45-10:45

座長：恒藤 暁（京都大学大学院医学研究科）

- EL1 豪州・モナシュ大学から：いま医療者に必要とされる「マインドフルネス(今、この瞬間への気付き)」とは？
～その科学的根拠と適応を探る～ 36
Dr. Craig Hassed (Senior lecturer in the Monash University School of Primary
Healthcare, Monash University Mindfulness Consultant)



EL2

Hassed先生による「マインドフルネス」をケアの現場に活かす！ワークショップ～医療者自身のケア、そして質の高いケアを求めて～ 第9会場

6月19日(金)11:00-12:30

座長：土屋 静馬（昭和大学横浜市北部病院 総合内科（腫瘍））

- EL2 Hassed先生による「マインドフルネス」をケアの現場に活かす！ワークショップ
～医療者自身のケア、そして質の高いケアを求めて～ 38
Dr. Craig Hassed (Senior lecturer in the Monash University School of Primary
Healthcare, Monash University Mindfulness Consultant)



マークは同時通訳です。

EL3

6月19日(金)14:10-15:10

早期からのがん緩和ケア～がん治療と緩和ケアの最適な統合を目指して～

第9会場

座長：森 雅紀（聖隷浜松病院 緩和医療科）

EL3



早期からのがん緩和ケア～がん治療と緩和ケアの最適な統合を目指して～ 40

Dr. David Hui (Tenure track assistant professor, The Department of Palliative Care and Rehabilitation Medicine
The Department of General Oncology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center)

EL4

6月19日(金)15:25-16:55

実践！ナラティブ・メディスン～「聴く力」「読み解く力」「見えないものに対するアンテナ」を磨く～

第9会場

座長：進藤 喜予（東大阪市立総合病院）

EL4

実践！ナラティブ・メディスン
～「聴く力」「読み解く力」「見えないものに対するアンテナ」を磨く～ 42Professor Rita Charon (Professor of Medicine at Columbia University Medical Center
Executive Director, Program in Narrative Medicine
College of Physicians and Surgeons of Columbia University)

EL5

6月20日(土)11:00-12:00

研究成果をどのように緩和ケアの政策と実践にいかすか

第9会場

座長：大西 和子（鈴鹿医療科学大学）

EL5

研究成果をどのように緩和ケアの政策と実践にいかすか 44

Professor Sheila Payne (Emeritus Professor in Palliative Care
President of the European Association for Palliative Care
International Observatory on End of Life Care, Lancaster
University, United Kingdom)

招待講演

IL1

6月19日(金)14:10-15:10

maggie's tokyo projectの歩みと意義

第2会場

座長：梅田 恵（昭和大学大学院 保健医療学部）

IL1

maggie' s tokyo projectの歩みと意義 46

秋山 正子（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション 暮らしの保健室、
NPO法人 maggie's tokyo 共同代表）

IL2

6月19日(金)14:10-15:10

がん患者においてよく遭遇する皮膚症状の評価と対応のコツ

第5会場

座長：荒尾 晴恵（大阪大学大学院医学系研究科）

IL2

がん患者においてよく遭遇する皮膚症状の評価と対応のコツ 47

清原 祥夫（静岡がんセンター 皮膚科）



マークは同時通訳です。

IL3 在宅緩和ケアにおける医療コーディネーターの役割 6月19日(金)14:10-15:10
第6会場

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学）

- IL3 在宅緩和ケアにおける医療コーディネーターの役割** 48
金子 稚子（ライフ・ターミナルネットワーク代表）

IL4 人口減少社会に向かう日本の医療介護の現状と将来予測 6月19日(金)14:10-15:10
第7会場

座長：木下 寛也（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）

- IL4 人口減少社会に向かう日本の医療介護の現状と将来予測** 49
高橋 泰（国際医療福祉大学 大学院 医療経営管理分野）

IL5 進行がん患者の血栓症への対応 6月20日(土)9:45-10:45
第9会場

座長：奈良林 至（昭和大病院 緩和医療科）

- L5 進行がん患者の血栓症への対応** 50
円谷 彰（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター）

IL6 いのちをつなぐということ～看取りの現場に想う～ 6月20日(土)11:00-12:00
第8会場

座長：花戸 貴司（東近江市永源寺診療所）

- IL6 いのちをつなぐということ～看取りの現場に想う～** 51
國森 康弘（写真家 ジャーナリスト）

招請講演

RL1 精神腫瘍医の読んだシシリー・ソンドース 6月19日(金)14:10-15:10
第4会場

座長：阿部 まゆみ（名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻）

- RL1 精神腫瘍医の読んだシシリー・ソンドース** 52
小森 康永（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター）

RL2 建設的に対立するには、どうしたらよいか？ 信念対立解明アプローチ入門 6月19日(金)14:10-15:10
第8会場

座長：岡本 拓也（洞爺温泉病院）

- RL2 建設的に対立するには、どうしたらよいか？ 信念対立解明アプローチ入門** 53
京極 真（吉備国際大学大学院 保健科学研究科）

RL3 がん疼痛治療におけるオピオイド～これまでの歴史と将来性～ 6月20日(土)8:30-9:30
第8会場

座長：志真 泰夫（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

- RL3 がん疼痛治療におけるオピオイド～これまでの歴史と将来性～** 54
山口 重樹（獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座）

RL4
自尊感情・自己肯定感を育む【いのちの授業】

6月20日(土)8:30-9:30
第9会場

座長：堂園 晴彦（医療法人 堂園メディカルハウス）

- RL4 自尊感情・自己肯定感を育む【いのちの授業】 55
小澤 竹俊（めぐみ在宅クリニック 院長）

RL5
緩和ケアにおける漢方の役割～精神科医が行う漢方治療の視点から～

6月20日(土)9:45-10:45
第8会場

座長：武村 史（市立札幌病院 精神医療センター）

- RL5 緩和ケアにおける漢方の役割～精神科医が行う漢方治療の視点から～ 56
惠紙 英昭（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター、
久留米大学医学部 神経精神医学講座）

シンポジウム

記念SY1
夢をかなえる～この20年、そして、あしたへ～

6月20日(土)8:30-10:00
第1会場

座長：高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）
荒尾 晴恵（大阪大学大学院医学系研究科）

- 記念SY-1 日本緩和医療学会の原点 58
柏木 哲夫（淀川キリスト教病院 理事長）
- 記念SY-2 誰の、誰による、誰のための、緩和 59
平賀 一陽（国立がん研究センター東病院 麻酔科・集中治療科、岩手県立中部病院 緩和医療科）
- 記念SY-3 これからの10年、3つの課題 59
山本 亮（JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 緩和ケア内科）
- 記念SY-4 私の夢ーがんのためにつらい思いをする日本中の患者さんとご家族を一人でもなくしたいー 60
細矢 美紀（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- 記念SY-5 私の考える10年後 60
岡本 禎晃（市立芦屋病院 薬剤科）

SY1
患者のこころと希望を支えるコミュニケーション

6月19日(金)9:15-10:45
第1会場

座長：林 糸り子（藤沢湘南台病院 看護部）
秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）

- SY1-1 終末期における「希望」とは何か？ 61
岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）
- SY1-2 終末期の希望を支えるコミュニケーション 61
石田 真弓（埼玉医科大学 国際医療センター 精神腫瘍科）
- SY1-3 がん患者さんの心理：防衛機制とコーピング 62
藤澤 大介（慶應義塾大学 医学部 精神・神経科）

SY2

緩和ケアチームにおけるリハビリテーション専門職の活用を考える

6月19日(金)9:15-10:45

第5会場

座長：安部 能成（千葉県立保健医療大学）
橋爪 隆弘（はしづめクリニック）

- SY2-1 大学病院におけるがん患者に対するリハビリテーションの実態 63
梅崎 成子（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
- SY2-2 各リハビリテーション職種における専門性と特殊性への理解 63
吉原 広和（埼玉県立がんセンター 整形外科リハビリテーション室）
- SY2-3 緩和ケアチームにおけるリハビリテーション専門職活用の条件 64
安部 能成（千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科）
- SY2-4 地域包括ケアの中で終末期を支える～リハビリテーション専門職の関わり～ 64
染谷 明子（富山医療生活協同組合 富山協立病院 リハビリテーション科）

SY3

緩和医療専門医制度を考える

6月19日(金)9:15-10:45

第6会場

座長：木澤 義之（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野）

- SY3-1 日本緩和医療学会専門医制度 65
橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター、慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）
- SY3-2 緩和ケア専門研修に対する若手ニーズ研究から見えてくるもの 65
西 智弘（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター）
- SY3-3 アジア・ヨーロッパ諸外国の緩和専門医制度の発展～日本の制度と比較して～ 66
山口 崇（神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター）
- SY3-4 新専門医制度に向けた緩和医療専門医制度の改定案 66
山本 亮（JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 緩和ケア内科、
専門医制度検討委員会 委員長）

SY4

若年がん患者(AYA: Adolescent and Young Adult oncology)への緩和ケアの現状と課題

6月19日(金)9:15-10:45

第7会場

座長：永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）
青木 和恵（静岡県立静岡がんセンター）

- SY4-1 若年がん患者への緩和ケアの現状と課題（腫瘍内科医の立場から） 67
勝俣 範之（日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科）
- SY4-2 AYA世代の闘病のプロセスに伴走する
～心理士の立場から心理・社会的特徴をふまえて～ 68
榎場 美穂（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）
- SY4-3 小児看護の立場からみた若年がん患者へのケアの課題 68
竹之内 直子（神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室）
- SY4-4 ソーシャルワーカーの立場から 69
樋口 明子（公益財団法人 がんの子どもを守る会）

SY5

6月19日(金)9:15-10:45

終末期におけるニードを支える:食べたい、食べさせたいと言われたらどうする?

第8会場

座長:今井 堅吾(聖隷三方原病院 ホスピスコ)

濱口 恵子(がん研究会有明病院 緩和ケアセンター)

- SY5-1 終末期におけるニードを支える:
食べたい、食べさせたいと言われたらどうする?～医師の立場から～ 70
林 章敏(聖路加国際大学 聖路加国際病院 緩和ケア科)
- SY5-2 終末期におけるニードを支える:
食べたい、食べさせたいと言われたらどうする?～臨床看護師の立場から～ 70
小林 身和子(市立池田病院 看護部)
- SY5-3 終末期におけるニードを支える:臨床心理士の立場から 71
稲田 美和子(自治医科大学附属病院 緩和ケア科)
- SY5-4 医療倫理アプローチ 71
浅井 篤(東北大学大学院医学系研究科 医療倫理学分野)

SY6

6月19日(金)11:00-12:30

がん疼痛管理:多様化するオピオイドを上手に使いこなすには?

第1会場

座長:樋口 比登実(昭和大学病院 緩和医療科)

井関 雅子(順天堂大学 麻酔科学・ペインクリニック講座)

- SY6-1 がん疼痛におけるトラマドールの役割 72
深澤 圭太(京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座)
- SY6-2 タベンタドールの特性と使い方のコツ 73
佐藤 哲観(弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)
- SY6-3 メサドン 73
木下 寛也(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)
- SY6-4 フェンタニル即放性製剤 74
岡本 健一郎(昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)

SY7

6月19日(金)11:00-12:30

鎮痛薬の内服困難時の対応と工夫:痛み止めがのめなくなったらどうする?

第2会場

座長:大坂 巖(静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)

里見 真知子(医療法人社団慈成会 東旭川病院)

- SY7-1 鎮痛薬内服困難時の対処と工夫 74
里見 絵理子(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)
- SY7-2 鎮痛薬の内服困難時の対応と工夫:痛み止めがのめなくなったらどうする?
～在宅緩和ケア専門の診療所医師の立場から～ 75
前野 宏(札幌生活協同組合 ホームケアクリニック札幌)
- SY7-3 鎮痛薬の内服困難時の対応と工夫:痛み止めがのめなくなったらどうする?
～訪問看護師の立場から～ 75
濱本 千春(YMCA訪問看護ステーション・ピース)
- SY7-4 在宅看取り現場での疼痛緩和 現状と課題 76
山根 暁子(株式会社 ファーマシィ)

SY8

がん患者相談面接を行う看護師に求められるカウンセリングスキル

6月19日(金)11:00-12:30

第4会場

座長：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）
 矢ヶ崎 香（慶應義塾大学 看護医療学部）

- SY8-1 **告知前後の精神症状・自殺 カウンセリングの注意点** 76
 山田 健志（公益財団法人 がん研究会 有明病院 腫瘍精神科）
- SY8-2 **現場での実践** 77
 根岸 恵（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 看護相談室）
- SY8-3 **まず身につけたいスキル：マイクロカウンセリングと問題解決技法** 77
 平井 啓（大阪大学 未来戦略機構）

SY9

エンドオブライフケアにおけるMSW・心理士のアプローチ～アプローチと協働のあり方を考える～

6月19日(金)11:00-12:30

第5会場

座長：福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター）
 加藤 真樹子（JA大分県厚生連 鶴見病院）

- SY9-1 **エンド・オブ・ライフケアにおける心理士のアプローチと協働** 78
 白石 恵子（九州がんセンター サイコオンコロジー科）
- SY9-2 **エンドオブライフケアにおけるMSWのアプローチ** 79
 橋 直子（山口赤十字病院 医療社会事業部）

SY10

質的研究の入門と実践～インタビュー研究のノウハウ～

6月19日(金)11:00-12:30

第6会場

座長：三條 真紀子（横浜市立大学学術院医学群医学研究科看護学専攻がん・先端成人看護学）

- SY10-1 **内容分析とグラウンデッド・セオリー・アプローチの違いと質的研究の基本**
～研究を始めてから困らないために～ 79
 落合 亮太（横浜市立大学 医学部看護学科）
- SY10-2 **質的研究の経験から～内容分析を行って～** 80
 御供 優子（盛岡市立病院 看護部）
- SY10-3 **論文投稿で深める質的研究の基本** 80
 佐藤 恵子（長野赤十字病院 緩和ケアチーム）

SY11

がん患者の難治性・危機的な出血にどう対応する？

6月19日(金)11:00-12:30

第8会場

座長：松本 禎久（国立がん研究センター東病院）
 菊内 由貴（熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授システム学専攻）

- SY11-1 **体表面に露出した腫瘍と関連した難治性・致命的な出血** 81
 石木 寛人（東京大学 医科学研究所附属病院 緩和医療科）
- SY11-2 **がん患者の難治性・危機的な出血にどう対応する？**
～緩和ケア病棟の医師の立場から～ 82
 金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター 緩和ケア内科）
- SY11-3 **在宅がん患者の難治性出血・危機的出血への対応を考える** 82
 橋本 孝太郎（爽秋会 ふくしま在宅緩和ケアクリニック）
- SY11-4 **難治性・危機的な出血に備えた対策と日常的なケアの工夫～看護師の立場から～** 83
 須田 さと子（筑波メディカルセンター病院 看護部 緩和ケア病棟）

SY11-5	危機的出血に遭遇した患者・家族およびスタッフのこころのケアについて	83
	長友 隆一郎 (国立病院機構 山口宇部医療センター)	

SY12		6月19日(金)15:25-16:55
がん疼痛の評価法～教科書では解決できない問題について～		第1会場
座長：石原 辰彦 (岡山済生会総合病院 緩和ケア科) 高橋 美賀子 (聖路加国際病院)		
SY12-1	がん疼痛の評価法～教科書では解決できない問題について～ 疼痛評価に困った時のポイントとコツ	84
	奥山 慎一郎 (山形県立河北病院 緩和ケア科 地域医療支援部)	
SY12-2	がん疼痛の評価法～教科書では解決できない問題について～	85
	横川 史穂子 (長野市民病院 がん治療センター)	
SY12-3	教科書通りではうまくいかないがん疼痛治療への対応を考える	85
	笠原 庸子 (県立広島病院 薬剤科)	

SY13		6月19日(金)15:25-16:55
化学療法による神経障害性疼痛はどれだけ解決できたか？		第2会場
座長：井関 雅子 (順天堂大学 麻酔科学・ペインクリニック講座) 細矢 美紀 (国立がん研究センター がん対策情報センター)		
SY13-1	「化学療法による神経障害性疼痛はどれだけ解決できたか？」 化学療法専門医の立場から	86
	加藤 俊介 (順天堂大学大学院 医学研究科 臨床腫瘍学)	
SY13-2	白金製剤オキサリプラチンによる末梢神経障害発症の分子機構	87
	中川 貴之 (京都大学 医学部附属病院 薬剤部)	
SY13-3	化学療法による神経障害性疼痛を持つ患者の生活状況と看護ケアの現状と課題	87
	小澤 桂子 (NTT東日本関東病院 化学療法センター／がん相談支援センター)	
SY13-4	化学療法による神経障害性疼痛－緩和医療に長年携わって－ 臨床経験から	88
	行田 泰明 (医療法人社団 淳友会 わたクリニック)	

SY14		6月19日(金)15:25-16:55
様々な症状に対する薬学的介入の工夫～薬剤師の視点から～		第4会場
座長：岡本 禎晃 (市立芦屋病院 薬剤科) 立松 三千子 (名城大学大学院薬学研究科、愛知県がんセンター中央病院)		
SY14-1	新規オピオイド鎮痛薬の安全で効果的な使用に向けて	89
	千原 里美 (市立伊丹病院 薬剤部)	
SY14-2	鎮痛薬以外の新規製剤の適正使用について	89
	伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院 薬剤部)	
SY14-3	経口抗がん薬の有害事象とその対策	90
	矢野 琢也 (住友別子病院 薬剤部)	
SY14-4	がん疼痛治療とオピオイド鎮痛薬の依存	90
	鈴木 勉 (星薬科大学大学院 薬学研究科)	

SY15

6月19日(金)15:25-16:55

がん患者の希死念慮と自殺：プリベンション、インターベンションそしてポストベンション 第5会場

座長：山田 了士（岡山大学大学院 精神神経病態学）

田口 賀子（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター）

- SY15-1 **がん患者の自殺の現状とプリベンションーがん患者の自殺予防への提案ー** 91
 上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）
- SY15-2 **希死念慮を有する患者への関わりー患者の自殺を経験した心理士の視点からー** 92
 石田 真弓（埼玉医科大学 国際医療センター 精神腫瘍科）
- SY15-3 **がん患者の自殺後のポストベンション（事後対応）：特にスタッフのケアを中心に** 92
 明智 龍男（名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

SY16

6月19日(金)15:25-16:55

緩和医療における薬物療法研究の障害を打破する

第6会場

座長：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）

岩瀬 哲（東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科）

- SY16-1 **単施設の研究経験から多施設研究の必要性を考える** 93
 小原 弘之（県立広島病院 緩和ケア科・緩和ケアチーム）
- SY16-2 **多施設観察研究JFINDの実施から学んだ薬物療法研究の障壁と対策** 93
 森 雅紀（聖隷浜松病院 緩和医療科）
- SY16-3 **レジストリ研究で薬物療法研究の障害を打破する** 94
 前田 一石（大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター 緩和ケアチーム）
- SY16-4 **緩和医療における薬物療法の障害について～ランダム化比較試験の経験から～** 94
 金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター 緩和ケア内科）

SY17

6月19日(金)15:25-16:55

小児緩和ケアにおける倫理的課題：子どもの代理意思決定について考える

第7会場

座長：多田羅 竜平（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）

- SY17-1 **小児がんの子どもの意思決定について** 95
 朴 明子（群馬県立小児医療センター 血液腫瘍科）
- SY17-2 **意思決定をめぐる生じるジレンマへの対応～臨床心理士の立場から～** 95
 吉田 沙蘭（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）
- SY17-3 **重症心身障害児者の代理意思決定** 96
 荒木 暁子（千葉県千葉リハビリテーションセンター 看護局）
- SY17-4 **「話し合いのガイドライン」と協働意思決定** 96
 加部 一彦（恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 新生児科）

SY18
事例を通してセデーション・カンファレンスを考える

6月19日(金)15:25-16:55
第8会場

座長：池永 昌之（淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科）
小山 富美子（近畿大学医学部附属病院 看護部）

SY18 事例を通してセデーション・カンファレンスを考える

- 坂下 明大（兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科）
福田 かおり（聖隷三方原病院 ホスピス緩和ケア認定看護師）
渡邊 紘章（小牧市民病院 緩和ケア科）
大塚 菜美（佐久医療センター 緩和ケアチームがん性疼痛看護認定看護師）
栗原 幸江（東京都立駒込病院心理士）
長尾 充子（あるふぁ訪問看護ステーション がん看護専門看護師）…………… 97

SY19
専門領域と緩和ケアのコラボレーション

6月20日(土)8:30-10:00
第2会場

座長：平原 佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所）
荻野 美恵子（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門）

- SY19-1 終末期COPDへの対応**…………… 98
津田 徹（医療法人社団恵友会 霧ヶ丘つだ病院）
SY19-2 神経疾患の緩和ケアへの取り組み…………… 98
成田 有吾（三重大学 医学部 看護学科、三重大学 医学部附属病院 神経内科）
SY19-3 疾患を区別せずサポートする急性期病院緩和ケアチームの取り組みと課題…………… 99
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

SY20
終末期におけるたった一度の意思決定を支える

6月20日(土)8:30-10:00
第4会場

座長：阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）
矢野 和美（東京通信病院 がん相談支援センター）

- SY20-1 腫瘍内科医として進行癌患者を支えるということ**…………… 99
高野 利実（虎の門病院 臨床腫瘍科）
SY20-2 終末期におけるたった一度の意思決定を支える～看護師の立場から～…………… 100
山口 聖子（医療財団法人 明理会 行徳総合病院）
SY20-3 終末期についての話し合いに関する医師の姿勢・経験・考え～全国調査の結果より～…………… 100
森 雅紀（聖隷浜松病院 緩和医療科）

SY21
多職種、多業種で支える在宅緩和ケア

6月20日(土)8:30-10:00
第5会場

座長：西崎 久純（仙台往診クリニック）
吉井 朋代（セントケア・ホールディング[㈱] 事業支援本部介護サービス支援部 訪問看護サービス担当）

- SY21-1 保険薬局における在宅緩和ケアへの取り組み**…………… 101
中野 宜範（株式会社 日本生科学研究所 日生薬局）
SY21-2 在宅療養生活を支える専門職として…………… 102
額綱 恵美子（特定非営利活動法人 渋谷介護サポートセンター）
SY21-3 【多職種、多業種で支える在宅緩和ケア】について…………… 102
高島 恒男（メディカルオフィスたかしま 代表）

SY22

「倦怠感」を多職種で支える

6月20日(土)8:30-10:00

第6会場

座長：久永 貴之（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）
長谷川 久巳（虎の門病院）

SY22-1	がん関連倦怠感はどこまで緩和できるのかー緩和ケア医の立場から	103
	松尾 直樹（外旭川病院 ホスピス）	
SY22-2	「倦怠感」を多職種で支える 心療内科の立場から	104
	松田 能宣（国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム）	
SY22-3	倦怠感へのアプローチー看護師の立場からー	104
	花出 正美（がん研究会 有明病院 緩和ケアセンターがん相談支援部）	
SY22-4	倦怠感を考える～リハビリテーションの立場から	105
	内山 郁代（聖隷三方原病院 リハビリテーション部）	

SY23

一から始める緩和医療における論文の書き方、投稿の仕方

6月20日(土)8:30-10:00

第7会場

座長：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）

SY23-1	論文投稿初心者のための査読者との対話ー投稿から採択までの道のりー	105
	菅野 雄介（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野、 独立行政法人 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）	
SY23-2	査読者からのエール	106
	大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）	
SY23-3	こんな論文がアクセプトされる。	106
	新城 拓也（しんじょう医院）	

SY24

緩和医療Up To Date

6月20日(土)10:15-11:45

第2会場

座長：久永 貴之（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

SY24-1	緩和医療Up To Date 1	107
	本間 英之（新潟県立加茂病院 緩和ケア科）	
SY24-2	緩和医療Up To Date 2	108
	田口 奈津子（千葉大学医学部附属病院 麻酔疼痛緩和医療科）	
SY24-3	緩和医療Up To Date 3	108
	竹内 麻理（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）	

SY25

頻尿・尿失禁の治療・ケア～最期まで排泄を支える～

6月20日(土)10:15-11:45

第4会場

座長：三浦 剛史（三井記念病院 緩和ケア科）
塩川 満（総合病院 聖隷浜松病院）

SY25-1	知っておきたい頻尿・尿失禁の病態と排尿管理のポイント ～泌尿器科医の視点から～	109
	中村 一郎（神戸市立医療センター西市民病院 泌尿器科）	
SY25-2	看護の視点で考える泌尿器ケア～最期までその人らしさを支えるために～	110
	成松 恵（兵庫県立加古川医療センター 看護部）	
SY25-3	泌尿器症状、もう一工夫～鎮痛薬の調整や精神症状の評価 緩和ケア医の視点から～	110
	木内 大佑（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）	

SY26 疼痛治療の在宅移行時のハードルをなくす 6月20日(土)10:15-11:45
第5会場

座長：足立 誠司（鳥取市立病院 総合診療科、地域医療総合支援センター）
中山 祐紀子（医療法人社団 杏順会 越川病院）

- SY26-1 **疼痛治療の在宅移行時のハードルをなくす** 111
谷水 正人（国立病院機構 四国がんセンター）
- SY26-2 **疼痛治療の在宅移行時のハードルをなくす～病院看護師の立場から～** 111
矢野 和美（東京逓信病院 看護部 兼がん相談支援センター）
- SY26-3 **がん疼痛治療における病診連携、在宅医療チームでの工夫** 112
後藤 慶次（医）ソレイユ ひまわり在宅クリニック）
- SY26-4 **地域で形づくる「家で過ごしたい」気持ちに寄り添う支援** 112
鉄穴口 麻里子（安芸地区医師会 居宅介護支援事業所）

SY27 早期からの緩和ケア：日本での現状 6月20日(土)10:15-11:45
第6会場

座長：三宅 智（国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野、医学部附属病院腫瘍センター）
松本 俊子（総合病院 土浦協同病院 看護部）

- SY27-1 **当院における苦痛のスクリーニングー現状と課題ー** 113
松井 孝至（栃木県立がんセンター 緩和医療部）
- SY27-2 **早期からの緩和ケアの臨床試験とその後の取り組み** 113
横山 太郎（横浜市立市民病院 緩和ケア内科）
- SY27-3 **早期からの専門的緩和ケアの提供：
看護師を中心とした専門的緩和ケア介入の実施可能性試験の結果をふまえて** 114
松本 禎久（独立行政法人国立がん研究センター東病院 緩和医療科）
- SY27-4 **東京医科歯科大学における早期からの緩和ケアの現状
～歯学部附属病院との連携を通して～** 114
本松 裕子（東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部）

SY28 緩和ケア・終末期ケアに関する看護師卒後教育 6月20日(土)10:15-11:45
第7会場

座長：宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻緩和ケア看護学分野）

- SY28-1 **ELNEC-Jーこれまでの経緯と現状、今後の方向性** 115
笹原 朋代（筑波大学大学院 医学医療系）
- SY28-2 **「専門的緩和ケア看護師教育プログラム」について** 115
田村 恵子（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 緩和ケア・老年看護学分野）
- SY28-3 **がん医療に携わる看護研修事業** 116
市川 智里（国立がん研究センター東病院 看護部）
- SY28-4 **緩和ケアに関連した専門看護師・認定看護師と特定行為に係る看護師やNP教育制度の動向** 116
内布 敦子（兵庫県立大学 看護学部）

SY29 メサドン～痛みへのメカニズムに応じた適応の選択～ 6月20日(土)15:45-17:15
第1会場

座長：下山 直人（東京慈恵会医科大学 緩和医療学）
瀧川 千鶴子（KKR札幌医療センター）

- SY29-1 **メサドンはなぜ危険なのか？～メサドンの呼吸抑制について考える～** 117
山口 重樹（獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座）

SY29-2	メサドン使用の実際について 118 松田 良信（宝塚市立病院 緩和ケア内科、宝塚市立病院 緩和ケア病棟、 宝塚市立病院 がん診療支援緩和ケアセンター）	118
SY29-3	メサドン適正使用に向けた緩和ケアチームの取り組み 118 原 伸輔（大阪大学医学部附属病院 薬剤部）	118

SY30

6月20日(土)15:45-17:15

救急・集中治療と終末期ケア～救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン・日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本循環器学会からの提言～ 第2会場

座長：中島 信久（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻 外科病態学講座 緩和医療学分野）
茅根 義和（株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科 部長）

SY30-1	救急・集中治療における終末期医療への取り組み～日本救急医学会の立場から～ 119 木下 順弘（熊本大学 生命科学研究所 侵襲制御医学分野、 日本救急医学会 救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会）	119
SY30-2	日本集中治療医学会における終末期医療と終末期倫理セミナーと心のケアの取り組み 120 氏家 良人（川崎医科大学 救急総合診療医学、日本集中治療医学会 理事長）	120
SY30-3	循環器疾患における末期医療から終末期医療への対応：末期心不全に対する包括的ケア 120 野々木 宏（静岡県立総合病院 循環器内科）	120
SY30-4	「救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン～3学会からの提言～」について －緩和医療に携わる側の立場から－ 121 中島 信久（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻 外科病態学講座 緩和医療学分野）	121

SY31

6月20日(土)15:45-17:15

終末期の回復が望めないせん妄の治療・ケアのゴールをめぐる

第4会場

座長：中村 喜美子（三重大学医学部附属病院）
小早川 誠（広島大学病院 緩和ケアチーム）

SY31-1	在宅における終末期せん妄 121 浜野 淳（筑波大学 医学医療系）	121
SY31-2	一般病棟における終末期せん妄 122 小室 龍太郎（国立病院機構 金沢医療センター 緩和ケアチーム・精神科（腫瘍精神担当））	122
SY31-3	終末期の回復が望めないせん妄のケアのゴールをめぐる 122 津金澤 理恵子（公立富岡総合病院 緩和ケアチーム）	122

SY32

6月20日(土)15:45-17:15

地域包括ケア時代の在宅がん緩和ケア

第5会場

座長：川越 正平（あおぞら診療所）

SY32-1	介護力と在宅看取り 123 宮森 正（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター）	123
SY32-2	地域包括ケアを切り拓く長崎の多職種協働と地域医療連携の実践 ～長崎在宅Dr.ネット、OPTIM、あじさいネットの取り組み～ 123 白髭 豊（白髭内科医院、認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット）	123
SY32-3	maggie's tokyo project—若年性乳がんを越え、がんになっても幸せを感じられる文化を、 社会を巻き込んでつくっていく— 124 鈴木 美穂（特定非営利活動法人 マギーズ東京、日本テレビ 報道局、 若年性がん患者団体 STAND UP!!）	124

SY33

緩和ケアのアウトリーチはどこまで進んだか

6月20日(土)15:45-17:15

第6会場

座長：阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）

伊藤 由美子（兵庫県立がんセンター 緩和ケアセンター）

SY33-1	緩和ケアのアウトリーチはどこまで進んだか 複数施設で実施してきたアウトリーチの経験と今後の展望	124
	奥山 慎一郎（山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部）	
SY33-2	病院の緩和ケア医が在宅医療に関わることで拡がるアウトリーチ	125
	廣橋 猛（永寿総合病院 緩和ケア科、医療法人社団博賢会 野中医院）	
SY33-3	精神科医の院外コンサルテーションおよびアウトリーチシステムの確立に向けて	125
	上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）	
SY33-4	緩和ケアチームによるアウトリーチの持つ意味と課題	126
	伊藤 由美子（兵庫県立がんセンター 緩和ケアセンター）	
SY33-5	アウトリーチとしての心理コンサルティング活動	126
	平井 啓（大阪大学 未来戦略機構）	

SY34

看護ケアの最新エビデンス

6月20日(土)15:45-17:15

第7会場

座長：宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻緩和ケア看護学分野）

久山 幸恵（静岡県立静岡がんセンター）

SY34-1	エビデンスに基づいた疼痛に関する最新の看護ケアについて ～突出痛：Breakthrough Cancer Painのケアについて再考する～	127
	風間 郁子（筑波大学附属病院 看護部）	
SY34-2	呼吸困難に対する看護ケアのup to date	127
	角甲 純（国立がん研究センター東病院 看護部）	
SY34-3	消化器症状のマネジメント up to date	128
	川村 三希子（札幌市立大学 看護学部）	
SY34-4	せん妄	128
	佐々木 千幸（国立がん研究センター東病院 看護部）	

SY35

家族の悲嘆のケア

6月20日(土)15:45-17:15

第8会場

座長：下山 理史（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア科）

浅井 真理子（帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科）

SY35-1	配偶者を亡くした高齢者の悲嘆とサポート： 遺族のサポートグループに参加した一人暮らしの高齢の男性の事例から	129
	広瀬 寛子（戸田中央総合病院 看護カウンセリング室）	
SY35-2	悲嘆のケアは患者の生前から～在宅ホスピスケアの看護師の立場から～	130
	横江 由理子（いきいき在宅クリニック）	
SY35-3	死別を体験した子どもに寄り添うとは	130
	小嶋 リベカ（国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院）	
SY35-4	「家族の悲嘆のケア」～遺族外来受診者の分析から～	131
	大西 秀樹（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）	

座長：志真 泰夫（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- SY36-1 **生命予後予測指標の比較に関する世界最大規模のコホート研究：ProVal-study** 132
森田 達也（聖隷三方原病院 緩和治療科）
- SY36-2 **差し迫った死の診断** 132
Dr. David Hui（Tenure track assistant professor, The Department of Palliative Care and Rehabilitation Medicine
The Department of General Oncology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center）
- SY36-3 **在宅医療における予後予測の課題と実際** 133
平原 佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所）
- SY36-4 **短い予後についての話し合いをなぜ、いつどのようにするのか。どのようなケアをしているのか。** 134
千崎 美登子（北里大学病院 看護部）

フォーラム

座長：細矢 美紀（国立がん研究センター がん対策情報センター）

長谷川 久巳（虎の門病院）

- FO1-1 **急性期病院におけるがん患者の家族ケア～病院で勤務する看護師の立場から～** 136
鶴田 理恵（公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアチーム）
- FO1-2 **訪問看護の立場から** 137
平野 和恵（一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション、
公益財団法人がん研究会 がん研有明病院）
- FO1-3 **援助者自身の「家族の捉え方」を見つめ直すことで広がる看護～セカンドオーダーサイバネティックスの試み～** 137
児玉 久仁子（東京慈恵会医科大学附属病院 看護部）

座長：田村 里子（WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部）

太田 桂子（鳥根大学医学部附属病院）

- FO2-1 **医療ソーシャルワーカーが支援する人生最終段階における意思決定について** 138
早坂 由美子（北里大学病院 トータルサポートセンター）
- FO2-2 **ソーシャルワーカーが介入した外来がん患者の意思決定支援** 139
石郷岡 美穂（琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター）
- FO2-3 **意思決定支援～「生活」を決める、「人生」を決めることを支援する～** 139
植竹 日奈（国立病院機構まつもと医療センター 中信松本病院 相談支援センター）

F03
薬剤師フォーラム

6月19日(金)9:15-10:45
 第4会場

座長：加賀谷 肇 (明治薬科大学)
 大澤 匡弘 (名古屋市立大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野)

- F03-1 **日本緩和医療薬学会研究推進委員会による研究支援活動** 140
 徳山 尚吾 (神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)
- F03-2 **緩和医療薬学研究推進のためのリバース・トランスレーショナルリサーチ** 140
 中川 貴之 (京都大学 医学部附属病院 薬剤部)
- F03-3 **臨床に必要な緩和医療研究の推進** 141
 国分 秀也 (北里大学病院 薬剤部)

F04
リハビリテーションフォーラム

6月19日(金)11:00-12:30
 第3会場

座長：安部 能成 (千葉県立保健医療大学)
 影近 謙治 (金沢医科大学医学部 リハビリテーション医学講座)

- F04-1 **患者・家族が「思い」を表出できる治療・ケアを目指して
 ～集中治療部に常勤する理学療法士の立場より～** 141
 藤吉 健史 (市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター)
- F04-2 **大学病院における骨転移カンサーボードの紹介** 142
 高橋 雅人 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部)
- F04-3 **がん治療とリハビリテーションー脳腫瘍と骨軟部腫瘍を中心に作業療法士の実践報告ー** 142
 櫻井 卓郎 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科、
 国立がん研究センター 希少がんセンター)
- F04-4 **理学療法士としてスピリチュアルペインを考える～ホスピスの現場から～** 143
 林 邦男 (社会医療法人栄光会 栄光病院)

F05
医師フォーラム

6月20日(土)10:15-11:45
 第3会場

座長：志真 泰夫 (筑波メディカルセンター病院緩和医療科 日本ホスピス緩和ケア協会理事長)
 池永 昌之 (淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院ホスピス科 日本緩和医療学会理事)

- F05-1 **緩和ケア病棟に勤務する専従医師の現状** 143
 茅根 義和 (株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科)
- F05-2 **緩和ケアチームに勤務する専従医師の現状** 144
 加藤 雅志 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部)
- F05-3 **「緩和ケア医」という選択と分岐点～緩和ケア病棟の医師として～** 144
 神谷 浩平 (山形県立中央病院 緩和医療科)
- F05-4 **精神科医～緩和ケアチーム専従医～総合緩和ケア医への道程** 145
 西本 武史 (北見赤十字病院 緩和ケア内科/腫瘍精神科)
- F05-5 **緩和ケア医を意識するまで** 145
 大内 修司 (東京医科歯科大学)

F06

大学病院フォーラム 大学病院・緩和ケアチームによるEnd of Life Careの提供

6月20日(土)15:45-17:15

第10会場

座長：三宅 智（国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野、医学部附属病院腫瘍センター）
中村 陽一（東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム）

F06-1	大学病院における看取りにおける緩和ケアチームの役割	146
	中村 陽一（東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム）	
F06-2	end-of-life教育を橋頭堡に高度で先進的なend-of-life care研究の道を探る	147
	飯嶋 哲也（山梨大学医学部 麻酔科、山梨大学医学部附属病院 医療チームセンター）	
F06-3	昭和大学病院における緩和ケアチームの活動報告	147
	樋口 比登実（昭和大学病院 緩和医療科）	
F06-4	弘前大学医学部附属病院緩和ケアチームのエンド・オブ・ライフ・ケアへの寄与	148
	佐藤 哲観（弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室）	
F06-5	神戸大学医学部附属病院におけるEnd-of-Life Care ～緩和ケアチームの役割と課題～	148
	坂下 明大（神戸大学医学部附属病院 緩和和支持治療科、 兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科）	
F06-6	東京医科歯科大学医学部附属病院・緩和ケアチームによるEnd of Life Careの提供	149
	三宅 智（東京医科歯科大学医学部附属病院 緩和ケアチーム）	

委員会企画

CM1

委託事業委員会企画：ガチンコ勝負！どうすれば患者家族から苦痛やつらさを訴えてもらえる医療者になれるのか？

6月19日(金)9:15-10:45

第10会場

座長：上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）
池永 昌之（淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院）

CM1-1	がん治療医のつぶやき・・・医療はホテルサービスではない	152
	清水 わか子（三井記念病院 放射線治療科、君津中央病院 放射線治療科）	
CM1-2	オンコロジストは気持ちを打ち明けてもらえる存在になりうるか？	153
	下山 理史（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター）	
CM1-3	患者に届く「緩和ケア」に期待して	153
	緒方 真子（神奈川県立がんセンター 患者会「コスモス」）	
CM1-4	わたしたちのつらさは、どうすれば伝わる？	154
	松本 陽子（NPO法人 愛媛がんサポートおれんじの会）	

CM2

広報委員会企画：緩和ケアを社会へ広げる～学会としての広報のあり方を考える～

6月19日(金)11:00-12:30

第5会場-3

座長：有賀 悦子（帝京大学医学部 緩和医療学講座）
下山 理史（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア科）

CM2-1	緩和ケアは共通言語になったのか	155
	坂井 かをり（NHKエデュケーショナル 科学健康部）	
CM2-2	がん相談支援センターの活用と、がん相談外来の設置を	155
	五十嵐 昭子（NPO法人 支えあう会「α」）	
CM2-4	緩和ケアの啓発・普及活動について考える ～新宿オレンジバルーン・フェスタから見えてきたもの～	156
	金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部、慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）	

- CM2-5 緩和ケアを地域・社会に拡げる：ソーシャルワークのミクロ・メゾ・マクロの視点から 156
 田村 里子（WITH医療福祉実践研究所 がん緩和ケア部）

CM3

6月19日（金）11:00-12:30

専門的・横断的緩和ケア推進委員会企画：緩和ケアチームフォーラム

第7会場

座長：加藤 雅志（独立行政法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）
 岡本 禎晃（市立芦屋病院 薬剤科）

- CM3-1 緩和ケアチーム登録（2014年度活動状況）の速報と
 今後の緩和ケアチーム登録の方向性について 157
 加藤 雅志（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）
- CM3-2 緩和ケアチーム登録にみる看護師の状況と課題 158
 小山 富美子（近畿大学医学部附属病院）
- CM3-3 がん診療連携拠点病院の緩和ケアに関する取り組みを支援するための
 国立がん研究センターがん対策情報センターの活動 158
 中澤 葉宇子（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）

CM4

6月19日（金）15:25-16:55

専門医認定・育成委員会企画：専門医フォーラム

第10会場

座長：橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）
 大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）

- CM4-1 書類審査 159
 大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）
- CM4-2 症例報告審査 159
 首藤 真理子（医療法人社団 淳友会 わたクリニック）
- CM4-3 筆記試験 160
 橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター、慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）
- CM4-4 口頭試問 160
 安部 睦美（松江市立病院 緩和ケア・ペインクリニック科）
- CM4-5 専門医更新試験の概要 161
 関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

CM5

6月19日（金）17:00-18:30

国際交流委員会企画：国際交流セッション

第9会場

座長：安部 能成（千葉県立保健医療大学）

- CM5-1 Promotion and the issue of the palliative daycare salon in medical/nursing
 campus 162
 Mayumi Abe, RN (Nagoya University Graduate School of Medicine, Department
 of Nursing)
- CM5-2 Access to palliative care of terminal cancer patients - recent progress in
 South Korea 163
 Dr. Jung Hye Kwon (Division of hemato-oncology, Department of internal medi-
 cine, Kangdong Sacred Hospital, Hallym University)
- CM5-3 To provide seamless care across palliative care service in Taiwan 164
 Dr. Ying-wei Wang (Heart Lotus Hospice, Hualien Tzuchi General Hospital)

CM6

6月20日(土)8:30-10:00

教育・研修委員会企画:第5回ELNEC-J 指導者交流会～地域でELNEC-Jを拡げるための企画・運営のコツ～ 第3会場

座長:酒井 禎子(新潟県立看護大学)

- CM6 新幡 智子(ELNEC-J指導者、慶應義塾大学看護医療学部)
 菊内 由貴(ELNEC-J指導者、熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻)
 前澤 美代子(ELNEC-J指導者、山梨県立大学看護実践開発研究センター)
 梅田 恵(ELNEC-J指導者、昭和大学大学院保健医療学研究科・昭和大学病院)…………… 165

CM7

6月20日(土)8:30-10:00

委託事業委員会企画:達人に聴く!「がんとわかった時からの緩和ケア」私ならこう取り組む 第10会場

座長:上村 恵一(市立札幌病院 精神医療センター)
 池永 昌之(淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院)
 下山 理史(愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア科)

- CM7 討論者
 小林 孝一郎(富山赤十字病院 呼吸器外科)
 竹内 麻里(慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター)
 伊藤 由美子(兵庫県立がんセンター)
 橘 直子(山口赤十字病院 医療社会事業部)
 天野 慎介(一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン)…………… 166

CM8

6月20日(土)15:45-17:15

健康保険・介護保険委員会企画 第3会場

座長:東口 高志(藤田保健衛生大学 医学部外科・緩和医療学講座)
 服部 政治(公益財団法人 がん研究会有明病院 がん疼痛治療科 部長)

- CM8-1 診療報酬改定後の調査結果からみた現状と課題…………… 167
 二村 昭彦(藤田保健衛生大学七葉サナトリウム 薬剤課、
 藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)
 CM8-2 平成28年度診療報酬制度改定へ向けた取り組み…………… 167
 飯島 正平(公立学校共済組合 近畿中央病院)
 CM8-3 在宅緩和ケアにおける保険対策…………… 168
 吉澤 明孝(要町病院・要町ホームケアクリニック)
 CM8-4 看護関連の診療報酬・介護報酬に関する現状と課題…………… 168
 高橋 美賀子(聖路加国際病院 オンコロジーセンター)

ランチョンセミナー 6月19日(金)

LS1

6月19日(金)12:50-13:50

メサドンの可能性と問題点について考える～メサドンをはじめるときのSTEP～～メサドンをやめるときのSTEP～ 第1会場

共催:帝國製薬株式会社/テルモ株式会社

座長:山口 重樹(獨協医科大学 麻酔科学講座)

- LS1-1 メサドンの可能性と問題点について考える～メサドンをはじめるときのSTEP～…………… 170
 飯嶋 哲也(山梨大学 医学部 麻酔科学講座)
 LS1-2 メサドンの可能性と問題点について考える～メサドンをやめるときのSTEP～…………… 170
 瀧川 千鶴子(KKR札幌医療センター 緩和ケア科)

LS2 6月19日(金)12:50-13:50
がん疼痛治療におけるタベンタドールの役割は？ 第2会場

共催：ヤンセンファーマ株式会社
 座長：齊藤 洋司（島根大学 医学部麻酔科学）

- LS2 **がん疼痛治療におけるタベンタドールの役割は？** 171
 佐藤 哲観（弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室）

LS3 6月19日(金)12:50-13:50
がんサポーターシップケアの新戦略 第5会場

共催：ガルデルマ株式会社
 座長：加賀谷 肇（明治薬科大学 臨床薬剤学教室）

- LS3-1 **がん症状緩和の実際** 171
 金井 久子（聖路加国際病院 看護部）
- LS3-2 **がん性皮膚潰瘍臭改善薬メロニダゾールゲル（ロゼックス®ゲル0.75%）の有用性** 172
 渡部 一宏（昭和薬科大学 医療薬学教育研究センター）

LS4 6月19日(金)12:50-13:50
がん疼痛緩和におけるトラマドールの役割 第6会場

共催：ファイザー株式会社
 座長：余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター 緩和ケア科）

- LS4 **がん疼痛緩和におけるトラマドールの役割** 172
 木澤 義之（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野）

LS5 6月19日(金)12:50-13:50
漢方薬によるさまざまな抗がん剤副作用へのマネージメント 第7会場-1

共催：株式会社ツムラ
 座長：下山 理史（愛知がんセンター中央病院 緩和ケアセンター）

- LS5 **漢方薬によるさまざまな抗がん剤副作用へのマネージメント** 173
 吉田 直久（京都府立医科大学附属病院 消化器内科・化学療法部）

LS6 6月19日(金)12:50-13:50
緩和ケア領域におけるネーザルハイフローの有用性について 第7会場-2

共催：フィッシャー&バイケルヘルスケア株式会社
 座長：田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- LS6 **緩和ケア領域におけるネーザルハイフローの有用性について** 173
 蝶名林 直彦（聖路加国際病院 呼吸器センター）

LS7 6月19日(金)12:50-13:50
がん患者治療におけるカルニチン投与の可能性 第7会場-3

共催：大塚製薬株式会社
 座長：太田 恵一朗（聖路加国際病院）

- LS7 **がん患者治療におけるカルニチン投与の可能性** 174
 佐藤 康史（札幌医科大学 血液・腫瘍内科）

LS8

フェンタニル口腔粘膜吸収剤を使いこなす～われら突出痛救助隊～

6月19日(金)12:50-13:50

第8会場

共催：大鵬薬品工業株式会社

座長：細川 豊史（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座）

- LS8 フェンタニル口腔粘膜吸収剤を使いこなす～われら突出痛救助隊～ 174
大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）


LS9

生きる人・死にゆく人へのナラティブ・ケア～「わたし」と「あなた」がともに「いのち」に耳を澄ます～ 第9会場

6月19日(金)12:50-13:50

共催：昭和薬品化工株式会社

座長：栗原 幸江（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- LS9  生きる人・死にゆく人へのナラティブ・ケア
～「わたし」と「あなた」がともに「いのち」に耳を澄ます～ 175
Professor Rita Charon (Professor of Medicine at Columbia University Medical Center
Executive Director, Program in Narrative Medicine College of
Physicians and Surgeons of Columbia University)

ランチョンセミナー 6月20日(土)

LS10

よりよい疼痛緩和と連携～急性期病院、地域に求められる仕組み～

6月20日(土)12:20-13:20

第1会場

共催：久光製薬株式会社/協和発酵キリン株式会社

座長：蘆野 吉和（社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター、地域緩和ケア推進センター）

- LS10-1 神戸市立医療センター中央市民病院でのユニークな取り組み「地域応援医師制度」 178
李 美於（神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科）
- LS10-2 神戸市における緩和地域連携の実例 178
関本 雅子（医療法人社団 関本クリニック）

LS11

理解できているつもりで理解できていない突出痛～breakthrough pain(突出痛)とbackground pain flare(持続痛の再燃)～ 第2会場

6月20日(土)12:20-13:20

共催：大日本住友製薬株式会社

座長：富安 志郎（医療法人光仁会 西田病院 麻酔科・緩和ケア）

- LS11 理解できているつもりで理解できていない突出痛
～breakthrough pain（突出痛）とbackground pain flare（持続痛の再燃）～ 179
山口 重樹（獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座）

LS12

がん患者の腰痛を考える More closely considering low back pain in patients with cancer 第4会場

6月20日(土)12:20-13:20

共催：ファイザー株式会社/エーザイ株式会社

座長：佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科）

- LS12 がん患者の腰痛を考える
More closely considering low back pain in patients with cancer 179
住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）



LS13 症例に学ぶ痛みのアセスメント 6月20日(土)12:20-13:20 第5会場

共催：日本臓器製薬株式会社
座長：岡本 健一郎（昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科）
LS13 症例に学ぶ痛みのアセスメント 180
樋口 比登実（昭和大学病院 緩和医療科）

LS14 緩和ケア地域連携を進めるために 6月20日(土)12:20-13:20 第6会場-1

共催：株式会社ジェイ・エム・エス
座長：齊藤 洋司（島根大学 医学部麻酔科学）
LS14-1 大都市圏における地域連携 180
樋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）
LS14-2 緩和ケア地域連携を進めるために～緩和ケア病棟と在宅医療連携～ 181
橋本 龍也（島根大学 医学部附属病院緩和ケアセンター）

LS15 神経難病の在宅治療と緩和ケア 6月20日(土)12:20-13:20 第7会場-1

共催：田辺三菱製薬株式会社
座長：渡辺 邦彦（在宅ホスピス とちの木）
LS15 神経難病の在宅治療と緩和ケア 181
高橋 貴美子（札幌中央ファミリークリニック）

LS16 緩和医療におけるオーラルマネジメント～口腔のバイタルサインを意識する～ 6月20日(土)12:20-13:20 第7会場-2

共催：イーエヌ大塚製薬株式会社
座長：東口 高志（藤田保健衛生大学 医学部外科・緩和医療学講座）
LS16 緩和医療におけるオーラルマネジメント～口腔のバイタルサインを意識する～ 182
岸本 裕充（兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座）

LS17 ユニタルク®による胸膜癒着術 6月20日(土)12:20-13:20 第7会場-3

共催：ノーベルファーマ株式会社
座長：儀賀 理暁（埼玉医科大学総合医療センター呼吸器外科）
LS17 ユニタルク®による胸膜癒着術 182
笹田 真滋（東京都済生会 中央病院 呼吸器内科、国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

LS18 緩和ケアセンター・がん疼痛治療科の最前線～アセトアミノフェン注の可能性～ 6月20日(土)12:20-13:20 第8会場

共催：テルモ株式会社
座長：関根 龍一（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）
LS18 緩和ケアセンター・がん疼痛治療科の最前線～アセトアミノフェン注の可能性～ 183
服部 政治（公益財団法人 がん研究会有明病院 緩和ケアセンター／
緩和・がん疼痛治療部 がん疼痛治療科）

共催：塩野義製薬株式会社

座長：細川 豊史（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座）

**がん患者の疼痛の評価および管理に対する個別化アプローチ** 183

Dr. David Hui (Tenure track assistant professor, The Department of Palliative Care and Rehabilitation Medicine
The Department of General Oncology, The University of Texas
MD Anderson Cancer Center)

